

巻き込む力

国際協力の理解者拡大のためにできること

2014年は日本がODAを開始して60周年という節目となり、10月の国際協力啓発月間にはイベントだけでなく、テレビや雑誌、動画配信など、様々な媒体を通じた広報キャンペーンが展開されました。

国際協力は従来、国や自治体、NGO/NPOなどがそれぞれの特徴を活かした活動を実施してきましたが、近年は、より高い効果を得るため、セクター間の連携事例が増えてきています。また、自治体では自らの地域の活性化や課題の解決も見据え、国際協力活動に取り組むケースも目立つようになってきています。

今回のセミナーでは、こうした活動に精力的に取り組む外務省、自治体、NGO/NPOの方を招き、それぞれの取組みをご紹介します。また、国際協力活動への理解者や参加者の拡大について“連携”という視点から考えていきます。

国際協力に関わる方だけでなく、地域づくりの観点からも有益な内容ですので、多くの方のご参加をお待ちしています。

参加者募集



日時：平成27年2月17日（火）13時30分～17時00分（受付13時00分～）

場所：自治体国際化協会 大会議室（〒102-0083 東京都千代田区麹町1-7相互半蔵門ビル1階）

対象：地方自治体や地域国際化協会の国際協力・国際交流担当者

NGO/NPO関係者

国・国際機関担当者

その他、国際協力に関心のある方

定員：40名（定員となり次第、受付終了）

＜アクセス＞

東京メトロ半蔵門線「半蔵門」駅
1番・2番出口より徒歩2分



東京メトロ有楽町線「麹町」駅
1番出口より徒歩8分



基調講演

「国際協力の理解者拡大に向けて～国際協力60周年の国民への発信～」

日本がODAを開始して60周年を迎えた2014年、外務省は国際協力の広報として「テレビでの情報バラエティ番組の制作」、「音楽生ライブの動画配信」、「雑誌『BRUTUS』の制作協力」など、斬新な取組みを次々と展開してきました。この異色ともいえるメディアを活用した広報はどのように行われたのか、その狙いや効果についてお話をいただきます。

講演者

外務省国際協力局政策課企画官 荒木要氏

事例発表①

「途上国の地域開発に生きる飯田市の地域づくり」

長野県飯田市では公民館を拠点にした住民主体による地域づくりが長年受け継がれています。そのノウハウはJICAの途上国研修員の受入を通じて海外に“輸出”されているだけでなく、フィリピン・レガスピ市の地域開発に飯田市が協働で参画するまでに至っています。飯田市でも途上国でも共通していることは「行政と住民の協働」。飯田市の地域ぐるみの国際協力の取組みをご紹介します。

発表者

飯田市公民館副館長 木下巨一氏

事例発表②

「高齢者と途上国の子どもを結ぶ地域活動」

認定NPO法人地球市民ACTかながわ/TPAKは、アジアの子ども達へ教育や生活改善の草の根支援活動を行っているNGO団体です。2012年から高齢者施設の入居者と協働してアクリルたわしを製作して途上国の子ども達に送る「あみあみクラブ」という活動をしています。この活動は、途上国の子どもたちの衛生状況の改善に貢献し、2014年に「よこはま国際協力賞」を受賞しました。

発表者

認定NPO法人地球市民ACTかながわ/TPAK

代表 近田真知子氏

事務局長 伊吾田善行氏

パネルディスカッション

「国際協力の理解者拡大のためにできること」

ファシリテーター

(特活) 国際協力NGOセンター事務局次長 富野岳士氏

パネリスト

- ・外務省国際協力局政策課企画官 荒木要氏
- ・飯田市公民館副館長 木下巨一氏
- ・認定NPO法人地球市民ACTかながわ/TPAK 代表 近田真知子氏 事務局長 伊吾田善行氏

意見交換会

名刺交換を中心とした参加者同士の交流を行います。

※ セミナー終了後(17:45～)別会場にて交流会を実施します。(会費実費)

申込方法：①～④を記載の上、申込み・問合せ先メールアドレスあてにお申し込みください。

- ①お名前(ふりがな)
- ②ご所属
- ③ご連絡先(TEL、E-mail)
- ④交流会の参加の有無

主催：一般財団法人自治体国際化協会 市民国際プラザ

申込み・問合せ先：市民国際プラザ 担当：齋藤

E-mail：international_cooperation@plaza-clair.jp

電話：03-5213-1734